

ビフォーアフター

s s 51→73

通知表 21/34→23/37

定期テスト 418/677→433/769

タイトル

中学受験の失敗から3年。ツメの甘さを克服し、巣鴨高校合格！！

オープニング

2月3日、両国中学の入学試験日の夕方。

塾に中学準備講座の申し込みに来た親子がいました。

これまでの生活リズムや学習状況を聞くと、

- ・習い事は英会話と空手を週3回程度。
- ・両国中学合格を目指して、他塾に通って受験勉強をしていた。

とのことでした。

両国中学の入学試験があった日に、次の塾を探していることに、とても驚きました。

「まだ発表はこれからですよ？合格しているかもしれませんよね？」と尋ねると、お母様は、「子どもの勉強方法を見ていると、合格できるわけがないと思う。だから今日から高校受験のための塾を探しに来た。」とおっしゃっていました。

子どもから試験の手応えや感想を聞くと「たぶん、落ちていると思う」とボソボソ話していました。

「じゃあ、もし不合格だったら、高校受験では両国以上の学校に合格しようよ！」と約束して3年。

どのような経緯で巣鴨高校・城北高校・栄東（東・医）などに合格したのかを紹介します。

動機

親の悩み

- ・子どもの実力の程度がわからない。
- ・塾に通っているという安心感と結果につながらない不信感があった。
- ・高校受験では、学校の評価を上げつつ、受験に通用する実力もつけたい。

小学校の評価は、悪くありませんでした。

しかし、小学校という狭い範囲での評価では、受検者全体での子どものレベルがわからなかったようです。

両国中学合格を目指して、集団指導の塾に通っていました。

しかし、当時の塾では、受験校についてのアドバイス等なく、両国中学を含めて受験した中学校は、すべて不合格。

高校受験は、このままでは、まずいと感じていたようです。

しかし解決策がわからないと、東都ゼミナールに問い合わせがありました。

子どもの状況

中学準備講座から受講をはじめました。

英語ではアルファベットの書き方から、数学は正負の数から学習を始めます。

英会話の経験があるので、アルファベットを書くことや単語を読むことは問題なくできていました。

数学では、マイナスの考え方は、慣れないうちは難しく感じる子どももいます。

しかし、この子どもは、教えた内容を素直に実践できました。

他人の話聞く力や、お手本を真似する力はあるそうだなというのが第一印象でした。

中学受験の勉強の経験もあったので、計算力も標準レベルはありました。

決めた理由

入塾を決めた理由については、アンケートでご回答いただきました。

以下がアンケート内容です。

最初にお話をうかがったとき、いろいろとお伝えした中で、こちらが言いたいことを会話の中ですぐに理解してくれる。

しつれいな話かもしれませんが、打てば響くような先生だと思いました。

なにか伝えればすぐに対応・対策してくださると感じました。

一方的に塾の指導方法や授業料についてだけの説明ではなく、子どもの成績や学習への取り組み、性格や普段の生活の過ごし方なども聞いてくれました。

個々への配慮をしっかりとしてくれる塾だと感じて決めました。

入塾後

1. 中学1年生

3月末の春期講習から本格的に勉強が始まります。

授業内容を、定着させるかが

まとめ